

連絡先：(村田 090-1354-5974、三井 090-6412-4658)

受験シーズン到来。インフルエンザシーズンも到来。

手洗い、うがいを怠りなく。

人が集まるところに出かけるときは、マスクをして感染予防を！

(これじゃあ、保健だよりだよ)

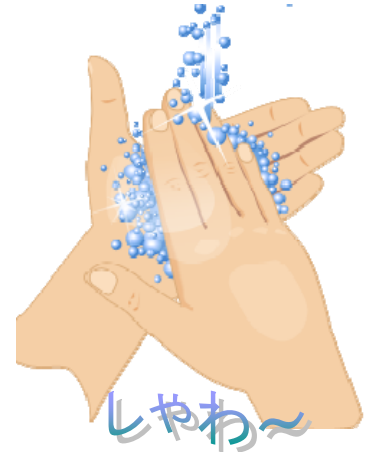
前回前々回と、継続加入のご案内を致しましたところ、

現在80名強のご継続及び新規ご加入をいただいております。

ありがとうございます。

お手続きがまだの方にはお誘いのお電話等を差し上げるかもしれません。

ご継続方、よろしくお願い申し上げます。



第 12 回定例学習会

「太平洋戦争」

1月19日に行いました。報告です！

「自存自衛」の戦争と宣言したうえで、大東亜戦争と名づけました!?

前々回の「日清戦争」前回の「日露戦争」に続き、今回の学習会は「太平洋戦争」。

教育研究のつどいの分科会と共催で、広島教育研究所の高橋信雄さんを講師に迎えました。

「もしも育鵬社教科書に対して忠実に授業を行う先生がいたら…?」という設定で模擬授業をしていただきましたので、今回は読み比べではありません。

この単元は他社版と読み比べなくても、みなさんの歴史観と比較していただければ、育鵬社版の特異性がお分かりになると思います。育鵬社版のこの単元中のコラムを二つ紹介します。

p213 人物コラム 杉原千畝と樋口季一郎

ドイツの迫害によって大量のユダヤ難民が発生したため、各国はその対応をせまられました。当時、ユダヤ人がビザなしで上陸できるのは中国の上海だけでした。ユダヤ人は、日本を通過して海路で上海に入るか、シベリア鉄道で満州のハルビンを経由して陸路で上海をめざすしかありませんでした。前者のルートを通ろうとしたユダヤ人に対し、リトアニア領事・杉原千畝は必死の思いで6000枚もの入国ビザを書き上げ、その命を救いました。しかし、後者のルートを選んだ数千人のユダヤ人は、満州国が入国を拒否したため、ソ連領で立ち往生せざるを得ませんでした。

これを聞いた陸軍のハルビン特務機関長・樋口季一郎は、ただちに救出のため列車の手配にとりかかりました。満州国の許可を得ないこの行動は明らかに職務を逸脱した行為でした。しかし、このままユダヤ人を見殺しにすることは、民族の協和という満州国の理想にも、人種差別撤廃という日本の方針にも反する、と樋口は考えたのです。

戦後、イスラエル政府は杉原への感謝を顕彰碑に表し、樋口の名を「偉大な人道主義者」としてその歴史に刻みました。

イギリスの歴史家 A・トインビーは、日本はその近代の歩みの中で、第二次世界大戦での破局をむかえたが、日本人は、はからずも歴史的なことを成しとげたとして、こう記しています。

「アジア・アフリカを支配してきた西洋の帝国主義者たちが、過去 200 年間そう思われてきたような無敵の半神的存在ではないことを、日本人はほかの人種の人々に証明した。われわれ欧米人はみな、日本人によって、次々とたおされたのである」

また、「日本は、敗戦という痛ましい経験によって国家主義の限界を学んだ。今、日本は、世界史の新しい時代の中で、先覚者的な役割があるものと確信する」とも述べています。

どうですか？みなさんの歴史観とはずいぶん違ったところも多いのではないのでしょうか？

問題はこの教科書で学ぶのは先入観のない中学生だということです。

千畝について初めて知るのがこの教科書だったら…

戦争について考え始めるきっかけがこの教科書だったら…

～未来への架け橋～の
facebookができました



ニュースのバックナンバー
が見られますよ♡
若人にもおすすめ下さい

<http://www.facebook.com/kure.kyoukasyo>

ち
よ
っ
と
お
で
か
け

カラー刷のチラシを同封
しています。

折りたたむのがもったい
ないような上等な（今時
滅多に聞かない言葉です
ね）チラシができました。

呉の中学校教科書採択問題を

考える市民集会

日 時：2012年03月16日（土）13：30～16：30

場 所：つばき会館（資料代 500 円）

（ご注意！今回は西教寺さんでもビューポートくれでも
ありません。）

講 師：高嶋伸欣（たかしまのぶよし）さん

（琉球大学名誉教授

元・高嶋(横浜)教科書裁判原告)

主 催：教科書採択問題広島県民ネットワーク

（教科書を考える呉の会～未来への架け橋～も
賛同団体として参加しています）